

小田原ガイド協会だより

—— OGO 第91号 ——

NPO法人 小田原ガイド協会

小田原市城内 3-22（〒 250-0014）
TEL.0465-22-8800/FAX.0465-22-8814

<http://www.odawara-gaido.com>

今！
下水道の

マンホール蓋 が 熱い!!

Manhole Cover

小田原市 デザインマンホール 蓋設置事業



小田原巡り（令和 3 年）



酒匂の渡し（昭和63年）

姉妹都市との提携記念（平成 29 年度）



八王子市



寄居町



小田原市

最近、全国各地でデザイン蓋が登場し、マンホール（マンホール蓋愛好家）が急増。平成二六年以降、各地でマンホールサミットが開かれるほど注目を浴びている。小田原市では、昭和六三年に考案された「酒匂の渡し」が市全域に設置されている。平成二九年度に姉妹都市との提携で「八王子市」「寄居町」とデザイン蓋の交換が行われ（初のカラー蓋）話題になったが、その後もご当地デザインやキャラクターをあしらったものが次々に誕生し、令和三年八月にガンダムデザインのマンホール蓋が登場し十種類を超えた。

また同年九月、現行のデザインである「酒匂の渡し」が三〇年ぶりの新デザイン「小田原巡り」になるなど、話題に事欠かない。今後も、デザイン蓋の設置が、小田原駅周辺地域の街中ガイドの話題作りに一役買ってくれそう。

下記 10 種のマンホール蓋は
左記 MAP の赤枠の内に設置されています。



設置場所を探してみよう!!



◆企画ガイド◆

◆阿弥陀寺◆

初めての企画ガイド

吉岡 雅史

11月24日・27日の二日間実施しました。両日天候に恵まれ一日目53名、二日目40名が参加し、ガイドは各日6名と5名の体制で臨みました。遠方にもかかわらず駆けつけたサポート要員の

協力で、参加者のコロナ感染対策と受付が行われました。

箱根湯本駅から参道女坂を阿弥陀寺まで上り、男坂を塔ノ沢駅まで下る約三時間のコースです。阿弥陀寺本堂で琵琶演奏を拝聴し幽玄なひと時に浸り、また皇女和宮ゆかりの黒本尊御代仏と香華院では、和宮の位牌を特別に参拝し、皆さん感慨深そうでした。

このコースはガイドの内容も多様です。江戸時代初期には箱根七湯として賑わい今日まで発展してきた箱根温泉の変遷、馬車鉄道や箱根登山鉄道など鉄道発展の歴



阿弥陀寺 奥の院の洞窟

史、塔の峰山麓に生育する植物を見ながら自然を満喫する山歩き、阿弥陀寺の信仰や歴史や史跡、幕末維新の動乱の時代に翻弄され悲劇のヒロインと言われた皇女和宮ゆかりの足跡、等々。

入会一年目の私には初めて参加する企画ガイドです。ある日、自分のガイドエリアをもっと知りたいたと、弾正上人が六年間修業した奥の院洞窟に参拝したくて出かけました。本堂裏を少し登ったところだろうと安易に山道を登りましたが、途中から踏み跡がほとんどなく予想以上の時間がかかり、ようやく洞窟にたどり着き参拝しました。真暗闇の洞窟の中に夥しい数の板碑や五輪塔などが祀られたゾクゾクする空間で、信仰のすごさに圧倒されてしまいました。

一日目の参加者の中に九十三歳の杖を突く女性の姿がありました。家族に話すと「行くな」と止められるので、内緒で参加したそうです。参加者の目的は様々でしたが、多くのお客様に満足頂けたようです。

◆企画ガイド◆

◆板橋界隈の庭園めぐりを終えて◆

石塚 三津江

冬晴れとなった板橋の企画ガイドは、私のガイドデビューの日となった。当初の予想を上回る参加者で一人12名を担当することになり不安だったが、メンバーに励まされ、気合を入れた。

この企画は、箱根板橋駅からガイドが左右に分かれて進み、時間差で松永記念館の学芸員に引き継ぐことが重要で、学芸員の担当時間も決まっているので、時間厳守が鉄則となる。私は後発だったので、説明を要約してすすめ、時間内に到着をイメージしていた。しかし参加者の集合が早く、予定より早く出発することになった。内心焦った私は、板橋地藏尊で丁寧な説明を心掛けなんとか時間どおりに進行することができた。

今回の企画ガイドで私が重要視したのは参加者の安全である。板



松永記念館 老学荘

橋地区は道路が狭く車の往来が多いのが気になっていたので。その都度「車に注意して一列でお願いします」と声をかけた。

12月中旬だったが、古稀庵では赤く染まった数本のみみじが、紅葉のなごりのように私たちを出迎えてくれた。古稀庵の庭は順路が狭く常に一列となる。後方までガイド内容は伝わったか、写真等の見せ方は適切だったのか気にかかった。

この企画で参加者が驚いていたのは、その当時の日本の代表的な政治家や、財界人が小田原に集まり、茶の湯の文化を形成していたことと、その財力だった。何とか時間どおりに終了して解散となった時、参加者から「また小田原に来たい」と言われた時は心底うれしかった。

正直、何度も挫折しそうになった新人を、懇切丁寧な指導で本番まで導いてくださった先輩たちに、感謝。この貴重な経験を通して言えることは「ガイドは奥が深い」ということだ。一人前のガイドへの道はまだ遠い。



文三堂へ 石段をのぼる

二〇二二年の大河ドラマにちなみ早川駅から佐奈田霊社、文三堂、伝武衛平まで登りつめ、ゴールのTOTOCOまで、約三時間のコースでした。やや健脚向きと謳っていたこともあり、ハイキングを楽しもうと参加した方もおられました。頼朝旗揚げの地である早川、挙兵時の土肥一族、佐奈田与一、軽便鉄道の事など、定置網の見える海を眺めながら案内させていただきました。

この後、石橋山合戦の主人公と私が勝手に思っている与一と文三の愛情深い話をしました。お客様は「俣野と与一が取り組んでいた時に文三はどうしていたの？」と二人に感情移入していました。「平塚では、与一の命日に、与一と文三と文六の絵が描かれたお神輿がでている」と紹介すると、今年は見られるか、平塚市役所に聞いてみるのとのことでした。興味を持っていただけでうれしかったです。

今回一番きついなと思われた伝武衛平までの行程も、無事上り切りしました。そこからは真鶴が見えたので「頼朝一行があそこから安房へ渡っていく話は三月の企画で」とお話ししました。TOTOCOまでの帰り道は、途中、パン屋さんや鈴廣さんの誘惑に負けて立ち寄られていました。

健脚の素敵な女性陣とご一緒にゴールできたことに感謝です。ありがとうございました。

早川駅からガイド

『石橋山古戦場』



富澤 節子

ら、ちようど大津ミカンが百円で売られていて、お客様の関心はミカンに……。軽便鉄道、石橋駅をご紹介したら、駅長さんは誰だったのだろうと、のどかに話しながら玉川沿いの坂を上って撮り鉄スポットで水分補給です。天気が良く風も凩いでいたので、定置網もきれいに見えました。

まち歩き

『箱根寄木細工』 露木木工所

岩本陽子

国の伝統工芸品に指定されている箱根寄木細工の露木木工所を訪ねました。かつて木工業者の信奉を集めた木地挽きの祖・惟喬親王を祀る紀伊神社の近く、早川駅から徒歩五分、箱根板橋駅から徒歩七分のところにあります。

小田原・箱根地区の木工の起源は古く、今から千年あまり前の平安時代に始まり、江戸時代に寄木細工という新しい発想が生まれ飛躍的に発展しました。木工所初代露木清吉氏は、箱根細工の創始者石川仁兵衛氏の孫にあたる仁三郎氏に師事しました。大正15年創業以来、伝統の技術・技法を守りながら、暮らしがより楽しくより豊かになるように、と今の生活に溶け込む新しい寄木細工を作り続けています。木材には様々な樹木の自然な色を求め、天然の国産材から東南アジアやアフリカの外国産木材まで使用しています。



ギャラリーには美しい作品の数々が展示されている

木工所併設のギャラリーには美しい作品がたくさん展示、販売されています。三代目清勝氏はいつでも天然の木のぬくもりのような温かい笑顔で私たちを迎えて下さいます。小田原市観光交流センター一階のショップでも、各種コンペなどで受賞歴のある四代目清高氏によって制作された素敵な作品を購入する事が出来ます。



■ハクセキレイ

御茶壺曲輪のオオバコなどの絨毯の上を、尾羽を上下に振りながら、忙しく食べ物の昆虫を探して

小田原城址の野鳥

第三回 曲輪編

畠山 義彦



お堀で見られる野鳥が季節によって異なるのに対して、曲輪では、ほぼ一年を通して同じ野鳥を見ることが出来ます。今回は小田原城の曲輪で見られる野鳥についてお話しします。

歩き回る野鳥を見かけたら、それはハクセキレイです。ハクセキレイは英語で「White Wagtail」、まさに「白くて尾羽を振る」鳥です。

■セグロセキレイ

ハクセキレイによく似ている

のがセグロセキレイです。

全長は

ハクセキレイと同じ

21cm。

尾羽を上

下に振つ

て歩く姿



も一緒です。見分け方はほつぺたを比べてみてください。頬の白いのがハクセキレイ、黒いのがセグロセキレイです。ちなみにセグロセキレイは英語で

Black Wagtail ですよ。

■ヒヨドリ

昔は秋になると山から人里へ降りてくる野鳥でした。ですからヒヨドリが降りてくる頃咲く花ということで、ヒヨドリバナという秋の花があるくらいです。どうした訳か、今では一年中見ることが出来ます。このヒ



やお堀端の桜の枝に止まって、器用に花の奥に首を突っ込んで蜜を吸うヒヨドリの姿を見ることが出来ます。

■イソヒヨドリ (写真は♂)

磯や岩場に多く暮らし、ヒヨドリに外見が似ていることからイソヒヨドリと名前がついています。しかし、最近では街中でも見られるようになりました。♀が全体に地味な茶褐色であるのに対して、♂は頭部や背が

鮮やかな青色をしているので「幸せの青い鳥」とも呼ばれています。声も美しく、なんと



銅門の鯢

ヨドリはソメイヨシノの花の蜜が大好物です。春、城

址公園に桜の開花の時期が訪れると、二の丸

形容しがたい声で鳴きます。昨年四月一日の会の記念撮影のときにも銅門の鯢の上に止まって綺麗な声で鳴いていました。

■シジュウカラ (写真は♂)



樹木の茂る小峰曲輪周辺でよく見かけます。♂も♀もおしゃれに黒いネクタイを

しています。太いネクタイをしていれば♂、細いネクタイをしていれば♀です。

■ヤマガラ

昔、神社のおみくじを取ってくださる芸をしていた小鳥がこのヤマガラです。当時を懐かしんでか報徳二宮神社の社寺林でよく見かけます。



次号の最終回では、これまで紹介できなかった野鳥をお届けします。

寒中の「彦根城」一人旅

鈴木夏実

最近、色々な資料で「彦根」と出くわすことがあって、小田原に珍しく積雪があった年始に彦根城への旅を敢行した。JR彦根駅から、雪のある道を滑らないようにと緊張しながら、約10分、ガイドとの待合せ場所へ。「彦根ボランティアガイド協会」の「井伊の赤備え」の真つ赤なジャンパーを着た米国人が迎えてくれた。今回は「彦根城・玄宮園」英語ガイド2時間コースを申し込んでおいた。彦根で唯一の外国人ガイドだった。中堀から「いろは松」の街路を通り、説明を聞きながら城内に向かった。外国人には、時代背景よりも、目の前の日本独特な建物や文化の特徴を話すようにしているとのこと。

二の丸の馬屋は、雪で覆われており「こけら葺」屋根は堪能できなかったが、予想以上に大きくて驚いた。

表門橋から天守へと続く、クネクネと曲がる坂を登り詰めたところに廊下橋があり、しばし足を止め石垣の美しさを堪能した。三重三階の天守には、幅が狭く61度傾斜のほぼ梯子のような階段があ

り、上り下りはとても興奮した。階段が強烈すぎて他は殆ど覚えていない。

次は玄宮園へ。雪で近道が閉鎖のため遠回りしたが、雪の天守との組み合わせは幻想的で貴重な風景を楽しめ、予定のコースを終了した。

昼食後、博物館で「朱漆塗仏二枚胴具足」や能舞台を見学。その後「夢京橋キャッスルロード」で、漬物や佃煮など試食しまくり、お土産もすっかり買った。彦根駅戻りは夕方となり予定以上に時間がかかったが、充実した散策ができた。

途中、門前で雪掃除をしていたご婦人から「京都ではなく彦根に、それも雪の日にお立ち寄り下さり感謝です」と言われた。国宝天守や櫓、「ひこにゃん」もいるのに、なんと謙虚な姿勢かと感銘を受け、小田原でも「いらしてくださり感謝です」の気持ちで案内しなければ気が引き締まった。

桜が満開の頃に、佐和山城跡他の探索に再訪問したいと思う。



【2022年企画ガイド予定】申込み・お問合せ 0465-22-8800

企画名	月日	コース概要
鎌倉殿 第二弾 源頼朝、逆境からの脱出	3/23 (水)	真鶴駅～荒井城址公園～ 真鶴港・しとどの窟～ 岩海岸・船出の浜～真鶴駅
名残の桜 西海子小路 文学散歩	4/3 (日)	早川駅～小田原漁港～ 西海子通り～松本剛吉邸～ 小田原文学館
学んで歩く総構・平地 海側	5/17 (火)	【講演会】文化財課 佐々木健策氏「総構」 小田原駅～蓮上院土塁～ 江戸口見附～早川口遺構～板橋見附
学んで歩く総構・山側	5/28 (土)	小田原駅～城下張出～ 稻荷森～鉄砲矢場～板橋見附
堂ヶ島 イワタバコとジオ	6/20 (月)	宮ノ下駅～熊野神社～ 堂ヶ島溪谷～太閤石風呂～菊華荘

・詳細は、小田原ガイド協会ホームページをご覧ください。

・新型コロナウイルスの感染状況等により、延期・中止の場合があります。

【編集後記】

■最近知ったのですが、神様に祈願する際はまずは感謝の意を告げる事が大事とか。今まで願ひ事のみだったことを反省し今年の初詣は感謝多めに手を合わせたのでご利益有ると信じます。昨年は発刊にご協力ありがとうございました。今年もよろしくお願い致します。



【編集委員】

飯田宗男(委員長)
磯崎知可子
柏木由美子
上田信一

令和3年度賛助会員

賛助会員のお店は皆様をお待ちしています！

賛助会員の皆様にはガイド協会の活動に賛同しご支援を頂いています。

賛助会員の詳細は小田原ガイド協会HPをクリックしてください。

<http://www.odawara-gaido.com>

☎ 0465-

鰯 壱 北 條	080-5465-0066
伊 勢 屋	22-3378
ういろう	24-0560
魚市場食堂	23-3818
江 嶋	22-1661
小田原種秀本店	22-6238
籠 清	22-0251
籠 常 商 店	23-1807
柏木美術鋳物研究所	22-4328
カネタ前田商店	23-4741
居酒屋 金 時	23-0721
幸 繁	22-5155
グリル 木の实	22-2912
さがみ信用金庫	24-3161
志村屋米穀店	24-2224
杉 兼 商 店	22-5051
鈴廣かまぼこ	22-2333
せきしん運輸	42-7375
田 毎	24-3030

☎ 0465-

田中屋本店	22-5545
だるま料理店	22-4128
欄干橋ちん里う	23-1547
露木木工所	22-5995
東 崑 庵	22-4657
鳥 かつ 楼	22-2078
菜 の 花	24-5688
箱根屋酒店	22-6416
小田原早川漁村	24-7800
平 井 書 店	22-5370
松崎屋陶器店	24-2479
マツシタ靴店	24-2233
万 葉 の 湯	23-1126
柳屋ベーカリー	23-2342
山市湯川商店	22-5637
山 安	21-1137
R Y O	20-0077
わらべ菜魚洞	22-4858

【50音順】